

平成25年度在宅医療セミナー開催要領

1 目的

超高齢社会を迎え慢性疾患患者や認知症高齢者の増加、医療技術の進歩等による医療処置を必要とする在宅患者の増加など、在宅医療に対するニーズは増加しています。

このようななか、医療や介護が必要になっても、本人や家族の希望に応じた在宅医療を住み慣れた家庭や地域において提供できる体制を整える必要があります。

在宅医療の充実強化を図るには、地域のかかりつけ医師を中心とした多職種協働によるチーム医療提供体制を整えることが大切です。

そこで、在宅医療(訪問診療)に従事する医師の増加を目的に「在宅医療セミナー」を開催します。

2 対象

(1) 診療所に勤務し、在宅医療(訪問診療)を新たに行おうとする医師

(2) 既に訪問診療を行っているが、受講を希望する医師

*ただし、定員を45名とし今後新たに在宅医療を行おうとする医師((1)に該当する医師)を優先します。

3 実施主体

滋賀県医師会、滋賀県

4 内容

*別紙「在宅医療セミナープログラム」のとおり

(1) 開催日時・場所

〔1日目〕平成25年10月5日(土)14:00~18:40

会場: 県庁北新館4-A会議室

〔2日目〕平成25年11月3日(日)14:00~17:10

会場: 草津総合病院9階 あおばなホール

*在宅医療を新たに行おうとする医師のみを対象

〔3日目〕平成25年11月10日(日)9:00~16:30

会場: 草津総合病院9階 あおばなホール

(2) 当セミナーは、講義、演習、実技、グループワーク形式とします。

(3) 訪問診療の同行体験は、新たに在宅医療を行おうとする医師を対象とします。

日程は、10月~11月の間の半日程度です。日程調整は、参加申込み後に行います。

5 参加申し込み

別紙参加申込書により、8月30日(金)までに県庁医療福祉推進課あてFAXで申し込んでください。

在宅医療セミナー プログラム

【1日目】2013年10月5日(土)14:00~18:40							会場: 滋賀県庁 北新館4-A会議室	
時刻	タイトル	内容	講師		分類	時間(分)		
			所属	講師				
《ねらいⅠ》・在宅医療が必要とされる背景 ・ 滋賀県が目指す在宅医療の姿 ・ 医師への期待								
14:00 ~ 14:05	① 開会のあいさつ	・在宅医療セミナーの目的、目指す方向、取り組みの決意表明	滋賀県 医師会長	笠原吉孝 医師	他	5		
14:05 ~ 14:25	② 在宅医療が果たすべき役割	・地域包括ケア、多職種協働のチーム医療、滋賀への期待	東京大学 高齢社会 総合研究機構	辻哲夫 先生	講義	20		
14:25 ~ 14:40	③ 滋賀の在宅医療の現状と課題	・セミナーの目的、期待、方向性 ・滋賀の在宅医療推進	滋賀県 健康福祉部	角野文彦 次長	講義	15		
《ねらいⅡ》・在宅医療の魅力、実践医師からのメッセージ ・ 事例による具体的な在宅医療のイメージ								
14:40 ~ 15:10	④ 在宅医療の魅力、実践者の工夫	・在宅医療のやり甲斐、これからの医師の背中を押すような話 ・暮らし丸ごとを診る視点 ・在宅に医療を持ち込むとは… ・在宅医療の醍醐味	東近江市 あいとう診療 所	横田哲朗 医師	講義	30		
《ねらいⅢ》・在宅医療の実践に必要な臨床課題と対応 ・ 在宅医療の治療技術								
15:10 ~ 15:50	⑤ 小児の在宅医療	・小児在宅医療の対象と状態像 ・小児に特徴的な観察、留意点 ・病診連携の実際 ・急変時(想定される)対応方法	滋賀県立 小児保健医療 センター	熊田知浩 医師	講義 演習	40		
16:00 ~ 16:40	⑥ 在宅医療におけるリハビリテーション	・在宅医療とリハビリテーション ・生活の質向上(ICF) ・他職種との連携 ・指示書作成	滋賀県立 成人病セン ター	川上寿一 医師		40		
《ねらいⅣ》・在宅医療を行う上でのコミュニケーション技術[訪問時の留意点、患者家族との関係、終末期を見据えた信頼関係の築き方]								
16:40 ~ 18:40	⑦ 在宅医に求められるコミュニケーションスキル	・訪問時の礼儀、ポイント ・在宅看取りまでの患者、家族との信頼関係づくり ・患者の状態に応じた対応面での配慮 ・多職種連携のためのコミュニケーション	一般社団法人 まなびの 応援団	平田節子 先生	講義 演習	120		
18:50~(終了後) ※有志による懇談会							・参加者同士の親交を深める ・自己紹介タイム 合計 270	

【 2日目 】 2013年11月3日(日)14:00~17:10

会場:草津総合病院9階 あおばなホール

時刻	タイトル	内容	講師		分類	時間(分)
			所属	講師氏名		
<p>【わらいV】* 在宅医療に必要な知識と技術を得る・実技を中心 * 新規医師は必須 * 定員20人まで</p>						
14:00 ~ 14:40	① 気管切開の管理	・気管カニューレの在宅管理の実際	滋賀医科大学 附属病院 耳鼻咽喉科	大脇成広 医師	講義 実技	40
14:40 ~ 15:20	② 在宅人工呼吸療法への対応	・訪問診療時の診察、確認事項 ・介護者に対する配慮 ・緊急時の対応	ふくだ医院	福田正悟 医師		40
15:30 ~ 16:10	③ Vポート管理	・在宅療養者のポート管理(観察事項、異常時の対応)	済生会 滋賀県病院	増山 守 医師		40
16:10 ~ 17:10	④ 摂食・嚥下・栄養管理 訪問看護師の活動とかかりつけ医との連携 経管栄養の管理 ・胃ろうの管理 ・経鼻胃管	・訪問看護師が行う「食べる」ことへの支援の実際 ・胃ろう、などの栄養管理の考え方 ・訪問看護師の役割と専門性 ・食欲が低下した人へのアプローチ、食欲低下をどうとらえ、関わるか ・開業医との連携の実際 ・在宅での胃ろう管理の仕方(トラブルの発見と対応) ・胃ろうの種類 ・胃ろうを増設するという意味、考え方	草津市訪問看護 ステーション (摂食・嚥下障害 認定看護師)	青根ひかる 看護師		60
			草津総合病院 臨床栄養科 消化器内科	伊藤明彦 医師		

【実習:訪問診療の同行】 2013年10~11月

対象	* 在宅医療(訪問診療)を新たに行おうとする医師のみを対象とし、必ず訪問診療の同行をしていただきます。 * 訪問診療を実施されている医師は対象外とします。
日程	* 実習を担当していただく医師との間で日程調整を行います
方法・内容	* 実習地域については、希望を聴取し可能な範囲で調整します * 同行していただく医師は、医師会にご協力いただき、お願いさせていただきます。

【 3日目 】 2013年11月10日(日)9:00~16:30

会場:草津総合病院9階 あおばなホール

時刻	タイトル	内容	講師		分類	時間(分)
			所属	講師氏名		
《わらいVI》*在宅医療の実践に必要な臨床課題と対応 *在宅医療の治療技術 *病院との連携(どのような時に、どのような方法で行うか)						
9:00 ~ 9:45	① 薬剤・服薬管理	・在宅療養者の服薬管理の現状と実際 ・在宅医療で薬剤師が果たす役割 ・どのような患者さんに、どんな支援をされているのか ・医師や他職種との連携の実際	丸山薬局	大石和美 薬剤師	講義 演習	45
9:45 ~ 10:30	② 歯科・口腔	・在宅医療で必要な歯科・口腔の知識 ・在宅療養者の現状と歯科医師、歯科衛生士の関与 ・医科歯科連携	おおいし歯科 クリニック	大西啓之 医師		45
10:40 ~ 11:25	③ 褥瘡管理 皮膚疾患管理	・褥瘡が発生した時の観察点と在宅での対応方法 ・褥瘡の評価(DSIGN)、治療薬、治療方法 ・褥瘡の予防 ・高齢者に発生しやすい皮膚科疾患とその対応方法	滋賀医科大学 附属病院 皮膚科	藤井紀和 医師		45
《わらいVII》*在宅医療の保険診療と諸制度に関する情報提供						
11:25 ~ 12:15	④ 在宅医療に関する医療・介護制度(報酬)	・在宅医療に関連した診療報酬の請求方法	中神内科クリニック	中神源一 医師	講義	60
《わらいVIII》*在宅療養の延長線上の看取り(死亡診断)までの対応の実際						
13:15 ~ 14:15	⑤ 在宅看取り	・在宅での看取りの現状 ・在宅での看取りを開業医がする意味(自宅での生活を支えるということ、病院や多職種との連携) ・看取りの際の関わり(在宅緩和ケア、家族への説明とケア、多職種との関わり、看取り時や緊急時の対応)	大阪北ホームケ アクリニック	白山宏人 医師	講義	60
14:15 ~ 14:45	⑥ 在宅等で死亡した場合の死亡診断の考え方・診断書の書き方	・診察時間と死因疾患との関係 ・死体検案書の発行、警察署に届け出が必要な場合とは ・死亡時刻と死亡確認の方法	滋賀医大 法医学教室	森田沙斗武 先生		30
《わらいIX》*多職種連携協働によるチーム医療展開のために、地域の関係者どおしが互いの理解を深める。 *医師同士の仲間づくり						
14:55 ~ 16:15	⑦ 多職種連携のチーム医療 (多職種専門性の理解、連携の具体的な方法)	・明日からの活動に向けた参加者地元の多職種との繋ぎをつくる場	地域リーダー 市町	・三ッ浪健一医師 ・角野文彦次長 ・都道府県リーダー ・地域リーダー ・セミナー企画委員	講義 GW	80
	⑧ 医師間連携の現状と課題、これからの方向性	・誰もが必要と言われる医師のグループ制!なぜ難しいのか?どうしたらできるのか?我々ができそうな方法は? ・病診連携の方法	在宅医療セミ ナー企画委員			
《わらいX》・セミナーのまとめ						
16:15 ~ 16:30	⑨ 修了証書授与				他	10
	⑩ 閉会				他	5